

3-8 伊豆半島の重力変化 (III)

Gravity Changes on Izu Peninsula(III)

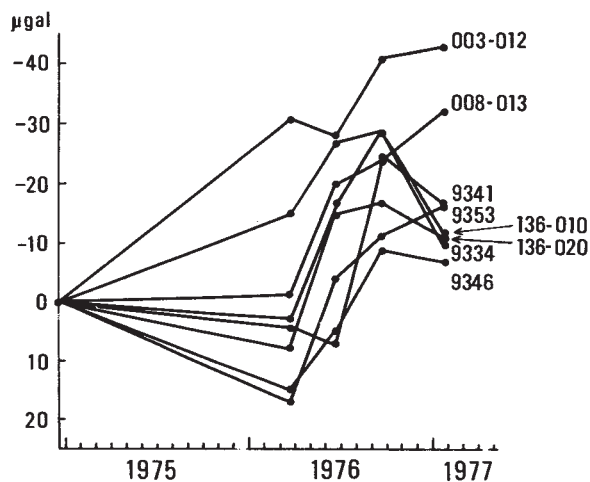
東京大学地震研究所測地移動観測班
Geodetic Survey Party
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1977年1月から2月にかけて、第6回伊豆半島重力測量を実施した。これまでの測量結果については、下記の参考文献^{1)~4)}を参照されたい。

第2回の測量より通して測量が実施されたいくつかの重力点について、重力値の時間的推移を示したものがFig. 1である。これによれば、山間部のBM003-012、BM008-013などでは、重力減少がほぼ停止し、その他平地部や梅岸部では、重力はむしろ増加している。つまり、隆起が停止して、沈降に移ったのではないかと思われる。

参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所 測地移動観測班：伊豆半島の重力変化，地震予知連絡会報16，(1976)，95-98.
- 2) 萩原幸男・田島広一・井筒屋貞勝・里村幹夫：伊豆半島における重力変化，測地学会誌22，(1976)，17-22.
- 3) 萩原幸男・田島広一・井筒屋貞勝・花田英夫：1975～1976年における伊豆半島東部の重力変化，測地学会誌22，(1976)，201-209.
- 4) 東京大学地震研究所測地移動観測班：伊豆半島の重力変化 (II)，地震予知連絡会会報17，(1977)，45-47.



第1図

Fig. 1 Time changes in gravity in μ gals.